

学会参加奨励金報告書

学籍番号：R23-062

名前：橋本優汰

学会名：第 41 回日本診療放射線技師学術大会

開催場所：福井駅前 AOSSA、ハピリン他

開催期間：9 月 12 日～9 月 14 日

発表セッション名：発表はしていません。

発表形態：発表はしていません。

発表日時：発表はしていません。

1. 発表の概要

発表はしていません。

2. 質疑応答内容 他

発表はしていません。

3. 関連発表の内容

発表はしていません。

4. 学会参加の感想

最初に、第 5 会場で行われる「FART 企画 5 令和の時代の働き方・教育を考える～Z 世代の解像度を高める～」に参加しました。20 代、30 代、40 代以上で分けて行われた調査によると、20 代は「働きやすさ」よりも「働きがい」を重視する傾向にあるということがわかりました。しかし、年代が上がるにつれてこの 2 つは逆転していました。昔と比較すると働く環境が大きく変わったということもあり、Z 世代への理解を深め、教育や指導の方法を模索していくことの重要性を理解しました。Z 世代の特徴として、ストレスに弱い印象が強いという調査結果を見て、全くその通りだなと感じました。昔の職場環境では厳しい指導が行われていたことが、上の世代がストレスに強い要因でもあるという考察にも、納得できました。

次に、霜村先生と霜村先生のゼミ生の発表を聞くため、会場を移動しました。発表テーマが私には少し難しかったのですが、放射線治療施設数が全国に一様に広がり、放射線治療を受けるための患者の移動負担の改善の効果が十分かどうかと、人口による放射線治療施設の集中が進んでいるかどうかについての発表だったと考えます。放射線治療施設の位置による患者の移動負担の改善は不十分だという結論を聞き、とても衝撃を受けました。

その後、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社によるランチョンセミナーに参加しました。CT では、デュアルエナジーとシングルエナジーの切り替えが容易な CT についての発表を聞きました。デュアルエナジーを使うか、シングルエナジーを使うかを判断する

のは診療放射線技師の腕の見せ所だそうです。MRI では、ディープラーニングを利用した MRI 画像についての発表を聞きました。AI を使うことにより、MRI 画像の再現性をさらに改善することができるという技術について学ぶことができました。

最後に、福井県診療放射線技師会市民公開講座で行われた大学の広報活動に参加しました。高校生や中学生と会話し、選択科目について質問されることが多かったのですが、私の大学で苦労した科目の経験から僭越ながらアドバイスをしました。

6. 現地参加がわかる写真(4枚)

